

◆ 2012年10月19日、経営学部教授会終了後、山田文明学長補佐に
井形学部長・理事と池島副学部長・カリキュラム委員長のパワハラへの対処を相談する

start time	end time	発言者	会話の内容	検索番号
		吉井	今日な、	1
		山田	え	2
		吉井	第1印象、みんなの視線、冷たいなー、<笑い>	3
		山田	うーん、いや、まー	4
		吉井	ま、ま	5
8秒	12秒	山田	よくわかっていない人が殆んどですのでねー、	6
13秒		吉井	うーん、隣の田中さんなんて	7
		山田	え	8
	33秒	吉井	非常に冷ややかな、いつも、いつもながら、あの一お言葉なんだけど、ま、それはちょっと僕のやつは横へおいといて、最後に二宮さん発言したやろ、んで、北村さん、発言したわな、北村さん、あれはね、俺、パツときたんやけども、学長選挙狙ってんの、俺、学長選挙、何時あるのか知らんけど、なんか	9
		山田	あ、あの一、例の	10
	37秒	吉井	俺はそんな感じで聞いたんだけどな	11
		山田	** の人数をどう増やすかの話	12
		吉井	えー、うん、そうそうそう	13
40秒		山田	あの辺はね	14
		吉井	うん	15
		山田	おそろくすぐく、それを	16
		吉井	意識しているんだわ	17
	46秒	山田	意識していると思います。もう一つ、あの、	18
		吉井	うん	19
47秒		山田	次の、来年の学長選挙にむかって、恐らくあの、実人数、に ***	20
		吉井	あー、それでー、人数増やす、あー、業績あげて	21
	59秒	山田	それができなかった責任を問うことで	22
		吉井	あー、それで	23
		山田	この学長にしてもやっていく、そういうことを何処まで	24
		吉井	戦略やなー	25
	1分3秒	山田	やっていくかですね	26
	2分23秒	吉井	それで、なんか、あの、僕が今真面目に出るともんだから、様子はようわかるわ。追求するストーリーが。あの時、僕、その、発言させてくれと言おうと思ったのは、実はね、僕はねー、僕たちがどんだけね、汗水を流しているかという結果でね、学生がその一、喜んで外へ出て行く、その喜びの姿がねー、その一、しゅうぎょう、しゅうぎょうじゃない、しゅうぎょうじゃないわ、あの一、大学に入ってこようという人を増や、本質的によ、増やすことになんねやわ。だからね、今の、今日の話に出とったカリキュラムとかね、あるいは先生の配置とかさ、その一、有能な先生をもってくるとかな、なんかね、そちらの方に僕らが教授会でね、真剣に議論しやんなあかんのに、その一、クローズしとるやろ、なー、あれが問題やねー。俺、今日も、し、審査のあんなんは、そら認めていいと思うけども、僕はね、本質的なところを議論してね、ほんで、その一、採用できる時に採用してあげる。うんで、採ったらね、採った責任上、なんでもいいやんか、一生懸命養成してね、育てていくという努力をしゃんとさー。いやー、有能な先生はいいよ。いいけども、ちょっと自分は不安やと思う先生でもさ、そういうその、啓蒙してあげるちゅうね、俺、それは学部長とかね、責任やと思うで、わしは。おかしいなー、なんか俺はちょっと、あた、頭にくるんだけど	27
2分23秒		山田	この9月で2人の期限付きの人が終わっていききましたけどね、	28
		吉井	うん、あつ、もう辞めたの	29
		山田	そうですよ。雇用も延長しん *** ちょうが	30
		吉井	あの一	31
	2分34秒	山田	** ってきましたから、	32
	2分37秒	吉井	えーと、なんか、採用した男の子とかいた、そのあれかな	33
		山田	そうです。	34
	2分40秒	吉井	徳永なんとかとか、あ、ほんだらもう、顔出してないの	35
		山田	前の2人の女性がね、	36

◆ 2012年10月19日、経営学部教授会終了後、山田文明学長補佐に
井形学部長・理事と池島副学部長・カリキュラム委員長のパワハラへの対処を相談する

start time	end time	発言者	会話の内容	検索番号
2分42秒	2分45秒	吉井	俺、いっぺん話したいなと思っとったんやけどな、あっそう。	37
		山田	あの人たちなんて、ほんとにかわいそうですよ。	38
		吉井	なー	39
		山田	その間ね、	40
		吉井	うん	41
		山田	特にあの、育てる努力をしたかとかね	42
		吉井	そやそや	43
		山田	うちで駄目なら次の職場についてね	44
		吉井	うん、うん、うん	45
	3分6秒	山田	それなりの努力をして、みんな、見つけてあげようとするのかも無い。何もしないでしょ。それでね、給料半分 *** で仕事せというだけでね、そして、 そういう立場だからモノ言えないですからね。	46
		吉井	俺はね、	47
		山田	*** は可哀そうですよ。	48
		吉井	俺はねー	49
		山田	絶対ダメですよ。	50
	3分32秒	吉井	あの一、それと人を大事にする。だから、採用の時にね、しっかり揉んで、えー、お入りいただいたら、もう一緒にこう汗水流すちゆうようなことをしてあげないといかんなー。それとね、採った先生、俺、今度来られた先生、どんな先生か知らんけどな、あの一、論文とかの審査、わし、全然タッチしてないからな。	51
		山田	だから、今回もね	52
		吉井	ふーん	53
		山田	北村さんたちは、その、入試の実人数どうのこうの言うが、自分がね、具体的には提案をする	54
		吉井	おー、イエス	55
	3分48秒	山田	絶対しないでしょ。それは自分が責任をとらんなあかんや。絶対そこはやらないでしょ。二宮さんだつてね、こういうことをやるべきだとかね	56
		吉井	あんな情報、よく知っているなと思ってね。ということは、北村さんが言わせているんだらう。	57
		山田	そうです	58
	4分4秒	吉井	そうだらう。わし、ちょっとメモしとんやけど、その、なんとか大学なんか乗り出してくるとかいうてさ。わしらは、仕事やとつたら、そんな情報、ま、ま、当然ながら、上の仕事やとつたらな、情報は当然入ってくるけど。	59
		吉井	実はな、6項目あげてきておられるね。6項目あげてきて、んで、あげ足とりやね。	60
		山田	なー	61
	4分29秒	吉井	あげ足とりやね、俺が、その一、えーと、何だっけ、あの一、カリキュラムを出せって、3年間のね。で、計画を出せいうようになってから、出したやつは僕の学年のミスなんかもとりあげたりとかね、あの一、幾つかそういうのがあんなわ。あれは、あの一。	62
		山田	もう、ともかく	63
		吉井	ほほっ	64
		山田	必要ない意思で動いていますから	65
	4分35秒	吉井	そうそうそ、も、そう、そういうこっちゃねん。	66
		山田	問題はね、僕、あの	67
		吉井	うん	68
		山田	もう、僕の印象では	69
		吉井	うん	70
		山田	あの一、先生の科目をどうするかわね	71
		吉井	うん	72
		山田	教授会で決めんとあかん訳ですよ。	73
		吉井	うん	74

◆ 2012年10月19日、経営学部教授会終了後、山田文明学長補佐に
井形学部長・理事と池島副学部長・カリキュラム委員長のパワハラへの対処を相談する

start time	end time	発言者	会話の内容	検索番号
4分45秒		山田	その人のもっている科目をなくすとか無くさんとかね、そんなものはカリキュラム委員会で決めることもできない。 提案はできますよ、そら。 でも、決めるのは教授会でね、そこを決めていないのに、カリキュラム委員会がこう言ったとかね	75
		吉井	うん	76
	5分6秒	山田	学部としてはこうしますというのを理由にあげるのも良くないですよ。 そこはね、あの、問題だと思います。これは明らかに。	77
	5分39秒	吉井	あとなー、ま、いろいろあんねけどな、いやー、僕は公明正大だよって、落ちるのは落ちるでいいちゅうふうにしてます。そういう発言もしとんのよ。しとんだけども、あのー、親切なことに票とりまでやってくれんね。 票とり、15人かなんか、3分の2になるでしょ。さいこ、再雇用だから、だから、えー、なんとかで採用人事なんですよ。で、その、あなたは15人超えたらどうなのか、下回ったらどうなのか、ちょっと、俺わからんねけどな、あの、それをとる自信がありますかと。	78
	5分40秒	山田	そんなこと、学部長、言う必要無いですわね。	79
		吉井	うん、それとなー、藤澤くんのことで、実は、あのー、樋口さんにその一名誉棄損で訴えられた時に、藤澤さんが人権委員長だったんだわ。んで、人権委員長の彼がね、教務の部屋のところで僕を呼びとめてさ、そのー、いろいろと、こう、えー、やっていきたいと。 ま、ぼ、僕は彼に言うたのは、ちょっと相手が大きすぎてね、あなたの力には負えないというたんだわ。で、し、しかし、彼はね、いわゆる、そのー、人権委員会としての、そのー、正しい手続きをやっている。つまり、その場を確認する、それを供述させて、周囲の証拠を固めて、で、それは調査委員会の委員長としてね、で、大畑さんと一緒に、あつ、あのー、確かに、えー、あなたは名誉棄損に当たらないという結論を出してんわ。 んで、あのー、樋口さんが取り下げて、で、その後に、樋口ゼミ生が、あのー、か、か、か、香川県かなんかの、えー、前任の高校の時のセクハラ記事、新聞に発表されたということでもって、あのー、えー、なんだっけ、高橋と北村理事、	80
		山田	はー	81
		吉井	先生、それ、知らなかった。先生、知らなかった表情やな	82
		山田	*** ありましたね	83
	7分39秒	吉井	うん、高橋、北村理事が、そのー、彼を呼んで、翌日から大学に来てはいけない、という、そういうことで、彼の弁明の余地、弁解の余地とかなんとかを閉じてしまって退職に追い込んだやろ。あれはねー、それはあのー、ぼ、僕ね、それがね、たまたま、彼が家を出ていく前日か当日の朝、俺、たまたまね、その方の顔も知らんねわ、あのー、名簿見てな、んでお電話いれたんよ。んで、彼は言うんだわ、あのー、小さい、あの、町だったのね、そのー、セクハラのある出た時に、自分はそういうことをしていないけれども、そのー、町が小さいから出てきたんだと。	84
		山田	うん	85
		吉井	で、彼はえん、冤罪というのかな、そ、そういうことを主張したんだわ	86
		山田	はー、そうですか	87
		吉井	で、俺ね、彼に言うたの。それ、幾ら辛くてもね、そのー、自分が悪いこととしてたら、もう、心から謝る。でも、そうでないならば、闘わんでなんで闘わなかったの言うてね、俺、言うたんだわ。んで、後はまあ、ご免なことと言うたんだけど。で、その、最後に、こー、言葉交わしたんだけど、僕のが、えー、原因か、というふう聞いたんだよ。んだったら、彼は、はい、そうです、と言ってね	88
	8分10秒	山田	うーん	89
	9分17秒	吉井	うん、僕のがどうも、げ、あ、そのー、追い込まれた、あれのようです、いうてね、言われて、それで、俺、もうショックだったんだわ。 だから、なんとか経営学部を、そのー、変えないといけな、変えるためには、ま、先生、どう思うかしらんけど、僕はその、カリキュラム委員会でも、ふさわしくない、つまり、えー、学生に対してとかね、そういうふうなことで、その、教育者としてふさわしくない行為をした人は、除外すべきである、除くべきなっけはいけない。 何故かという、そういう行為をした人ちゅうのは、いくらいいことやろうと思ってもね、その行為の延長線上にある可能性があるね。だから、その、横へそのー退く、でも、首を切るんじゃないでね、そのー、そういうふうな役割からのいてもらって、そのー、教育に専念してもらおうとかね、そういうふうな、そのー、学部長指導をね、俺はすべきだと、僕は学部長やったらそうすんね、そうすんねけど、俺はそう思っているいろいろと発言しとったんや。発言の仕方、下手やからみんなに嫌われとるんやけどな	90
		山田	あのー、ほんとに一人の人が言えば、いが関係なくてもそれで従うというかな、	91
		吉井	うん	92

◆ 2012年10月19日、経営学部教授会終了後、山田文明学長補佐に
井形学部長・理事と池島副学部長・カリキュラム委員長のパワハラへの対処を相談する

start time	end time	発言者	会話の内容	検索番号
		山田	そんな人が一定数いるっていうのわね、	93
		吉井	そやね	94
		山田	なんということだと、	95
		吉井	そうやね	96
		山田	もう少し、しっかりした判断をしたらと思うんですけどもね、	97
		吉井	うん	98
	9分43秒	山田	その姿勢が変えられる人になっていかない限り、現状を変えるのは本当に難しいなと思ってます。 <チャイム>	99
		吉井	俺はねー、どうする、俺はねー	100
9分46秒		山田	一つのね、僕はどうしても、あのー	101
		吉井	うん	102
		山田	今日のじょうちゅうもんみてて思うわ、うちの経営学部大丈夫かなと	103
		吉井	うん、せやねん	104
		山田	それはね、	105
		吉井	うん、うくん	106
		山田	*** ばっかりの先生やという	107
		吉井	ああ、それあるな、	108
		山田	それもあってね	109
		吉井	うん	110
	10分36秒	山田	ほんとに経営学部としての実態が薄れるとね、それこそ、あの、今はまだ時代が経営学部で向いてますから、行って来てくれますけどね。 それがいつまでも続く訳じゃないので、経営学部としてのしっかりとした教育ができないようなことになり、半分、法律の学校だ、ま、学部だとなってしまった時にはね、現在でもビジネス法に くる受験生はグッと下なわけですよ。足引っ張られてしまう。 経営学部はですね、これ考えていかなくちやならない深刻な問題を引き起こしてしまう	111
		吉井	それは起こりうるわな	112
	10分56秒	山田	うー、法律系作りたいというのは、僕は協力したんですけどね、その時は法学部をつくるという から協力したんです。中をみてね、軒下かしたものが、<笑い> そんなことを目指して やってたんじゃないんでね、あのー、その点、経営環境がその時しっかりしないと駄目だと	113
	12分9秒	吉井	あのー、経営関係の先生は、あのー、全部除外してたんか。うちの経営学部がちょっと 傾きだしたらねものすごく大きな負荷になると思うね。 だから、それを思うとね、あのー、いわゆるコンテンツ、その、僕らが学生に織り込むコンテンツね、 それをどういうふうにしていて、学生を競争力強化するかといったね、そのための、今日の話でも せやんか、俺、ゼミということで、ま、発言したけどね、我々教員のコマ数とか枠組みなんかよりも、 ゼミ生にどんだけね、僕たちの専門的なあれからみて、そのー、えー、いいことをまな、修得させな ね、学ぶじゃなくてね、修得させて、例えば、送り出すか。で、それが、例えば就活、就職に結びついたと かね、そういうふうな、サイクルに繋がっていったらね、あー、ここの大学に来たら、こんな苦労ができません など、それで、いいとこに就職できたんだちゅういったようなね、評判をつくっていきやいいねん。 その、一人でも通ったならな、それをアナウンスさせていったりしてね。 んで、あのー、学生を集められるように、ちゅうのが、そこをやることによってアウトプットとインプットがね、 いい方向に回るはずやね。	114
	13分13秒	吉井	中身のな、質的な検討をさ、その、内輪のような話をするんじゃなくてな、もっとそこを議論やらなあかん。 だから、先生言っとった枠組みの問題かな、年間スケジュールとか、なんか言っとったけど、それ、もう ちょっと枠組みをやってな、そのー、2年後3年後でもさ、こんな、えー、学生をうちの大学は学部はつくる んだちゅうようなね、その作るんだというコンテンツを明確にしやんなあかんね。俺、そこがね、学部教授 会とかでね、議論しやんなあかんと思うねんわ。もー、俺はそういうのをしたかったんだけどね、したかつ たんだけど、常に弾かれとったからね。んで、今はもうそういうふうな人材を、も、かなり探ってきてるや ん、探ってきたらその方の、えー、雇用とかもまもっていったげなあかん。そしたら、あのー、彼らの 能力と例えば僕が言うているストーリーのギャップがでるかもしれないけど、でも、枠組みをしっかり作っ ておいたらね、先生がたもその枠組みにそった人材になっていこうと努力されるはずや。そしたらね、僕は いい結果生めると思うね。	115

◆ 2012年10月19日、経営学部教授会終了後、山田文明学長補佐に
井形学部長・理事と池島副学部長・カリキュラム委員長のパワハラへの対処を相談する

start time	end time	発言者	会話の内容	検索番号
	13分54秒	吉井	俺はそう思うとんねんわ。だから、学部に向うづけ、それがね、学部長の責任であり、んで、それをね、その一、伝統的にちゆうたらいかんけども、次の学部長にバトンタッチしていくようなことをしゃんなあかんわ。で、それがね、だから、今度の学部長選挙でも、また、どういうふうにされるのか知らんけど、あの一、それは言うてみたら、えー、情報を共有しているとかいう、別の言葉でいうたら、使命感の共有や、そこをな一、その一、今のような形でこう排斥するとかさ、えー、弱い人をつくるとかね、なんとかちゆうようなことをやっとなつちや一駄目や。	116
	14分30秒	吉井	で、その一、デジタル情報やってみ、そしたらさ、そんな、記録も何もいれへんやんか。だから、サマリーだけどポンポンと書いてね、議事録はね。んで、その一、音声情報のある期間保持しておくとかね、いうふうにすればさ一、ものすごく違ってくると思うねわ。テープで残すとかいうその重たい昔のな、そんなんでなくていいんだもん。だから、それとあと、俺、あそこで提案した時に、名前あげたんがまずかっただろうけど、その、議事録にサインする、あれ、学部長でズーとやっとなつちやろ。あれはあかん一。	117
		山田	本来ね	118
		吉井	本来	119
14分31秒		山田	他の人が2人ぐらいでやるとね	120
		吉井	そうだよ。前の大学でもそうやった。	121
14分36秒		山田	だから、あの一、適当にいいように書かれているかもしれない	122
		吉井	そ、そ、そういうこつちやねん、そういうこつちやねん。だから、二宮さんの時、この前言ったけど、2行や。その、特任のあれ。俺、俺だけこんだけもう、なんかしらんけど6項目とんねんとかいうことできさ一、無茶苦茶やられとんね。頭にくるわ、あれ。	123
14分56秒		山田	*** 確かにね、再雇用と、	124
		吉井	うん	125
	15分16秒	山田	仕組みとしてそうだとすることに立脚していますから、それはそうだとすもね、定年が70だったのを67にした。その時の処置としてですね、希望者には70までいてもらうようにしよう。但し、給与は半分になりますよという処置だったんですよ。	126
		吉井	あ、なるほどね	127
	15分52秒	山田	でも、手続きはやはりそこで退職金も払うんですから、一旦打ち切って、再雇用という形に学校としてはなりません。それはそれでいいと思います。ただ、趣旨としてはね、あの一、ご本人が希望されれば、これまで長い間役割貢献していただいたことからね、ちゃんとできる元気なお姿でいてもらえるなら、やってもらおうということだった訳ですよ。それをね、自分の好き嫌いでね、科目止めてですよ、人材はぐるのをやめるなんてことを理由にしてね、卑怯千万ですよ。	128
		吉井	うーん	129
		山田	そんなことするからね、あのね、うちの職員の人も含めてね、うちを退職したなかに、	130
		吉井	うん	131
		山田	本当にいい学校で、いい勤め方をさせてもらったという人が	132
		吉井	うん	133
		山田	どんだけいるのか。逆にね、本当にもう、嫌な思いをして辞めていかれるようなことになってしまう方がね、少なくないんですよ。これ、うちのね、	134
		吉井	うん	135
	16分18秒	山田	ものすごい問題点ですわ。	136
		吉井	文明さんのその言葉でね、教授会の実情と雰囲気を知れば知るほど、学部部に大学に依存しなくてよいという人はね、つまり、自分に別の力を持っている人はね、その一、蹴っていくわな。	137
	16分35秒	山田	な、そらそうですわね。	138
	17分24秒	吉井	な、お、俺かてちよつと今、ほんと、選択肢まよ、迷とんねけども、俺な、最後ここで迎えよう思うとつたから、用意してなかつた。しまったなと思てね。んで、前の、俺、VE協会のあれとかやっとなつてね、あの一、向こうの先生方は、あの一、もう用意しゃんなあかんよとて言ってくれとつたんやわ。だけど、去年、俺、もの凄い科目持たされてん。8科目かなんかしらん。んで、その時に丁度言われてん。あの一、言われたんやわ。しまったなと思とんねけど、ま、ま一、ミス、ミスイケやな。で、いい方向にもつていかんと、その一、僕やったら僕の実態を見た人がね、2つ、1つは、あつ、その身を護るためにはなんとかしやんなあかんということと、その、腰掛で若い子やったらさ、なんとかというふうなことにはなるし、	139
		山田	そうですわね	140

◆ 2012年10月19日、経営学部教授会終了後、山田文明学長補佐に
井形学部長・理事と池島副学部長・カリキュラム委員長のパワハラへの対処を相談する

start time	end time	発言者	会話の内容	検索番号
	17分55秒	吉井	えー、正さなあかん。だからその、俺からみたら、ギブアップちゆうに思ってその日はかえ、帰ったんだけど、ギブアップ、で、頭がドンドン、その、冴えて、こう温まってくるとな、ちょっと待てよと思ったりもしてな、ちょっと待てよ、このまま、というふうな気持ちもなっとるんやわ。だから、そこをもうちょっと僕自身整理しやんなあかんねけど、整理しやんなあかんねけど、うーん	141
	18分11秒	山田	好き勝手なことをやられないだけの点数をしっかりと行動をとってもらえる人が確保できるといいんですけどもね。それ、ある程度は <聞き取り不可> まとまってこうフォローするようなことにはなっていませんから。	142
		吉井	あの一	143
		山田	どうせ、何人はね	144
		吉井	うん	145
		山田	その一、十分わかって	146
		吉井	うん	147
	18分19秒	山田	気持ちのうえでわかっている人は結構いるんですけどね	148
		吉井	投票を、で、票読みしてくれて、えー、藤澤くんはあなたに投票、可といれてくれますかと言われてな、<笑い> やばい	149
		山田	勝手に*** ゆうけんすなど	150
	19分20秒	吉井	えー、学部長や。言われて、いやー、まいったなーと思うてな。兎に角、彼らは票読みしてんのと、あと、もう1つは、蜂の一針みたいに、その欠席した人でも人事案件に対して可否を投票できるようにしたやる、あれはまずいわー。あー、あれは僕狙っとるんやと、俺、もうほんとに直感的に思うたんやけど、将に今の状況に至ったら、それ、そのとおりやなと思ってな。他の人、誰も気づけへんからね。僕のような経験してないから。普通のノーマルな状態でそんなに問題ないんじゃないか、でも、その方法に何か、その一、企みというか、意図があったならば、その意図がその瞬間に、その一、毒針になる訳や。だから、あのルールは毒針や、俺からみたらね。	151
		山田	彼はもう、あの一、10年20年かけて、そういう	152
		吉井	用意してきたんか	153
	19分29秒	山田	***をつくるために、本当に人事を握って一生懸命やってきましたからね。	154
	19分32秒	吉井	じゃ、俺、天敵やな、<笑い>	155
	19分38秒	山田	その執念たるや、よくあそこまでそんなことにこだわって無茶苦茶平気でするなーと思いますね。	156
		吉井	あ、そ一	157
		山田	そりゃ、そりゃ一、ひどいもんですよ。今日だって、あの、	158
		吉井	うん	159
		山田	本田先生の担当している科目でも、いや、担当	160
		吉井	あっ	161
		山田	***した担当しておられるよね。あれ、どういうことであんなことになったのか	162
		吉井	あっ、あの一、36歳かなんかの	163
		山田	うん、あの一、あの審査のなかにも、北村さん、入っているでしょ。	164
		吉井	あ、そう	165
	20分19秒	山田	何故、管理会計のなかにね、自分が審査に入るのか。やっぱり、管理会計の地位に心配してんですよ。自分に敵対する人間が入ってこないように。で、係わってれば、自分も申請して入れたということで関係つけられるでしょ。あの人、そういうことを狙いますからね。	166
		吉井	うーん、	167
		山田	これはあの	168
		吉井	あ、俺の対策やな、<笑い> そ、そっち、抜けとったな。	169
		山田	要するにね	170
		吉井	うん	171
		山田	どうなろうとすね	172
		吉井	うん、うん、	173

◆ 2012年10月19日、経営学部教授会終了後、山田文明学長補佐に
井形学部長・理事と池島副学部長・カリキュラム委員長のパワハラへの対処を相談する

start time	end time	発言者	会話の内容	検索番号
20分28秒		山田	あの一、その一、教授会でキチッと議論をされずにね、先生が葬られるようなね、そんなことは絶対許してはいけないしね、あの一、どうしても、その、嫌だというのは要るんなら要るで、教授会で議論したうえでね、そこで多数がどう判断するか、それはもう今の仕組み上、やむをえないですけどね、	174
	20分50秒	吉井	うん、そらそう	175
	21分23秒	山田	そこでね、議論はさせんとね、そんなもん、あの一、そこへもかけずにね、科目なくしたから、やまないんだ。それはとんでもないですよ。科目をなくすということ自体、教授会で何も議論してないんですからね。だから、あれもねえ、*** 聞き取り不可 *** もうちょっとしっかりしてくれればいいんですけどね、肅々淡々と。まして、降りてきて審査をする訳ですからね、教授会でももういっぺん。そこまでの手続きぐらい普通にやるのがね、そら、個人的感情抜きにやっぱりすすめてくれないとね一。	176
	22分5秒	吉井	そない思うなー。それとな一、あの一寂しかったのは、経営情報学部の改組に伴って情報なんか学部になった。で、それで一応ね、経営情報学部の、その一、社会的使命かなんかしらん、終わった。んで、え一、経営情報、んで私の経営情報とリンクさせてね、情報関係の科目なんかはもう不要である、と、カリキュラムの、え一、総意である、ちゅうことで、その一、カリ、何だっけ、カリキュラム委員会と、え一、学部長は、え一、不要科目、で、不要科目で、え、その、え一、再雇用の、その、吉井を採るはずがないとそういうことで、おし、ハッキリおっしゃね。	177
		山田	とんでもない	178
	23分45秒	吉井	これはね一、俺、あの一、あつ、それとな、頭にきたのわね、あの一、ゼミ生の人数。俺、24人、ん、ほんであの一、人数、その一、最初の人数からこう増えたのは、その一、再申請の時でこう増えてね、んで、面接の書類見たら、あの一、実際はどうかは別にしてな、非常に真剣な文章やってん。そこでな、一生懸命落としていったんやわ。その前に、その、土井先生でいたやろ、お亡くなりになった、あの土井先生、その、僕と一緒に試験問題とか作っとったからね、彼の部屋に時々コーヒー飲みにいっとたら、そのラグ、ラグビー部かなんか知らないんだけどね、その、学生なんか来たりしてね、んで、自分はゼミ2つ持っているんやと、同じ学年でね。ん、いうて、で、その一、ま、学生に対しての面倒見がどうもよかったように思うんだわ。で、その例を出してね、その一、もし、許可いただけるんならば、その、ゼミを2つ持ってもいいよ、あるいは、1つでも人数を増やして認めてくれたら面倒みるよ言うたんや。で、それをな、その一、いわゆる、僕が教学のルールを知らない、ということで、ゼミの定員は何人が知っているかいうてね、16名言うたら、その一、最大でも20名で、それを超えるちゅうことはないんだと。で、その、2部でね、の学生がこう入ってきたりして22名3名になるちゅうことはあるけれども、あん、あんたのように24名ちゅうのは無いちゅうてね、で、俺な一、昔、その一、ゼミ生のなんとかが悪い時に、なんとか、その一、ゼミに入ってくれる人を増やそうということで、23名4名とか、俺、確かね、それぐらい無理してもったことあんねわ。確かね、あの頃ね、	179
		山田	*** ありましたね ***	180
	24分25秒	吉井	だからね、その一、ルールを知らないちゅうこと言われてね、確かに、俺、阻害されてるし、なんとかでもう嫌気さしとるから、確かにルールに疎いことは事実やね。だけど、ルールになんとかで、それを、あの一、判断基準としてな、学生のために我々がなんとかしてあげようと思ってるやつをね、悪意をもってルール違反しているちゅうなね、捉え方でさ、攻めてきている訳やねん。そんなんな一、僕らが学生にいいサービスをしたいと思ってやっている熱意をなんでかってくれんのかなというところにね、はん、腹がたったんやけどな一。ま一、いろいろあったわ。	181
	24分43秒	吉井	ま、また、後であれやけど、僕、やっぱりね、あの一、今日も、きよ、教授会で言うたけど、先生方にまずは情報を流してね、ほんで、あの一、投票やったら投票で落とすんやったら落としてくれてもええと思とんね。それをやりたいと思とんねけども反対する、俺、やらしてほしいねけど、ま、ま、それはやるかもしれんぞ。	182
		山田	あの一	183
	24分51秒	吉井	ん、ほんであの一、俺、学長に話しようと思とんやけど、それはいいことかな。あの一、事実を知っておいてもらってね、	184
		山田	*** 伝えて先生のうちに	185
		吉井	うん	186
		山田	*** 訴えられるのはそれでいいんじゃないですか。	187
		吉井	それはいいと思う。うん。	188
	25分20秒	山田	それはやっぱり学部長にね、科目がないからと、それは少なくともカリキュラム委員会の段階で判断していいことじゃないと。決定には何もならない。やるんなら教授会で決めることがないとね、そんなもの、ないから、止めるからというように理由に手続きを止めるのはね、それは不当だと、それ、はっきり言えると思うんです。	189
		吉井	それ言うたよ。	190

◆ 2012年10月19日、経営学部教授会終了後、山田文明学長補佐に
井形学部長・理事と池島副学部長・カリキュラム委員長のパワハラへの対処を相談する

start time	end time	発言者	会話の内容	検索番号
		山田	あ、そうですか	191
		吉井	うん、言う、言うたけども、えー、いやー、先生、不可になるようなね、否認ならすいうようなことは、その一、学部長としてはできないんだ、ということをもうズーと	192
	25分35秒	山田	*** 否認しているじゃないか、自分で	193
	25分58秒	吉井	せや、せやねん、だから言うたんや、否認しててね、ほんで、あの一、いわゆる3分の2、要は、そのあなたに対して不可を、逆に落とすことに絶対になるんだという、そういう前提のもとでね、もとで、えー、不可になるような人をね、ま一、推薦委員会に出すことができないし、江島教授かな、えーと、話をしてもどうのこうのとかね、	194
	27分37秒	吉井	で、江島さんもさ一、教授になる時に、二宮さんがいろいろやった人やる。 僕は江島さんわね、あれ、有能な人なんだから、ちゃんと条件をそろえて教授になるべきやと思うねん。 せやけど、なんか条件が曖昧な状況の時にもう、え、教授、その一、広報かなんかでもう教授で書いていたからどうのいうて、その、うん、やったんだわ。で、その時に伊藤裕人さんがさ、あの一、岡山大学で、その、彼がシンクタンクかなんかいる時に、非常勤の助教授でいっていた年数を換算して、そのとこの業績もいれてなんとかと、いうふうなことで、その一いわゆる、当時認められていた、えー、基準、その判断基準を超えた、そ、そのやつまでいれて、その一、条件を満たすというふうなことになってきてん。で、伊藤さんは、あそうではありながら、えー、彼の業績とかみていったら問題になろうから、いいだろうとは思うけども、ちゆうふうなことを言いながらね、えー、しかし、本当いうと、基準としては、あの一、問題があるんですよということを、彼言いながらね、んで、我々もそれで同意して、あの一、賛成に回ったんだけどね。 でも、あの一、だから、それは変なことをいうと、僕はそこで反対しているから、あの一、反対の意見述べたからね、だから、あの一、そういうふうになる可能性があるね。 だからね、あの一、採用基準とか、昇格人事とかなんとかというの、フェアにやっただけなあかん。うん、フェアにやらんと絶対にその一、自分にとっても大事なことやからね、ま、そんなこと、あったな。	195
	28分10秒	山田	確かにそこはね、僕も、理事会で採決とかいろいろ入った時にどう動くか、それがそのどう動くかはよくわからないんですけども、あの一、先生を結果として支持することになる投票の仕方をする人も、僕、一定数、確実にいると思っています。それが何処までいけるかがね、わかりません。で、そういう場面は先生にとっても気持ちの良いものではありませんでしょうからそこをどうするかは、あの一、先生なりのご判断があってもそれはもう当然です。	196
	28分46秒	吉井	うん、ありがとう、ありがとう。そういうことでいいわ。俺ね、ただ一、大学に顔をつぶしたくないしな一ということも1つあるんだわ。 それと、うーん、いろいろと思ったりするね、俺ね、北村さんたちとは本当は外で闘いたいね、内部で力をもっていつてこうやるもんだからね、そつ、陰湿な闘いになるね。 社会の目からみたら絶対に良くないことやね、もう理路整然としとんね。で、俺が仮に社会で闘ったと思ったら馬鹿みんなのは俺やねわ。本当に、本当に馬鹿、馬鹿みんなね、うん	197
	28分56秒	山田	あの一、*** 聞き取り不可 *** 今の *** 状態、なんだ一というふうな、見方を本当にさせているんでね、 いろんなところで皆みることはみているんですけどね。	198
	29分12秒	吉井	うん、ま、今、先生が一言いうてくれた、あの一、でも、最後は俺が決断しやんなあかんことなので、ただな、俺が変に動いたら、文明さんさ、在任中に首になるんちゃうかと思てな、	199
		山田	うん、僕が	200
		吉井	俺が、	201
		山田	いや、いや、そんなことはない。そんな	202
		吉井	どういう行為をしたら懲戒になるかとか	203
	29分24秒	山田	なるようなこと、全くないですよ。も、明らかな犯罪行為の場合に適用されたりするだけだね、	204
		吉井	あっそうか	205
	29分32秒	山田	先生、そんなもの絶対ありえないですよ。そういう、そんなもの、あの一、ここでどういう行動をとられようと、あの一、* ゆうの権利主張される行動はどう考えようと	206
		吉井	権利、主張してもいいか	207
		山田	そ、そらもう、もちろん	208
		吉井	あっ、ありがとう、ありがとう	209
		山田	そんなもんで、あの一、先生 ***	210
		吉井	いや一、俺な一、うん、それが心配で、	211

◆ 2012年10月19日、経営学部教授会終了後、山田文明学長補佐に
井形学部長・理事と池島副学部長・カリキュラム委員長のパワハラへの対処を相談する

start time	end time	発言者	会話の内容	検索番号
29分39秒		山田	ただ、あのー、	212
		吉井	情報を出した時に、	213
		山田	*** アプローチ ***	214
		吉井	なんとかという	215
		山田	出し方は、あのー	216
		吉井	うん	217
		山田	注意してくださいね	218
		吉井	いや、そこやねん、	219
	30分3秒	山田	それは、あのー、本当に確たる根拠を呈示して、追い込める、みんなを説得できる形で出されるのはね、そら、当然だと思いますけど、あの、不用意に、相手に利用されるような形で <聞き取り不可>	220
		吉井	うん、わかった、わかった。えー、定年まで無事にいければ、とりあえず、で、できれば	221
		山田	定年が	222
		吉井	来年3月や	223
		山田	来年3月、	224
		吉井	うん	225
		山田	ほんなもう、もう直ぐやないですか	226
		吉井	せやけど、あのー、悪いことちゅうか、なったならば、強制的にでも、それと	227
		山田	いやいや	228
		吉井	教授会でな、3分の2のあれがでたら、いつでも、俺、首にできんねで、	229
		山田	それはね、	230
		吉井	うん	231
		山田	教授会でできるのは、	232
		吉井	うん	233
	30分33秒	山田	例えば、先生の科目担当をはずすとかね、そんなことはできますけどね、解雇は理事会しかできません。	234
		吉井	そうか	235
	30分44秒	山田	教授会はね、そら、いろいろある *** <聞き取り不可 > *** とね、理事会にはもうちよつとまともな考え方をもっている人がたんとういますからね、そんなことはできません。	236
		吉井	あっそうか、それやたら助かるねんけどな	237
	30分46秒	山田	それは大丈夫です。	238
	30分57秒	吉井	俺、それが一番不安で、教授会でな、もういつでも3分の2いつちやうからね、だから、俺、もう、直ぐに首になると思って、実は翌日、	239
		山田	そんなことは心配なくて	240
		吉井	あっ、そうか、心配ないか	241
		山田	絶対ないです。	242
	31分0秒	吉井	まず、まずはほんだら、来年の3月までは大丈夫やな	243
		山田	そら、そうですよ。	244
	32分2秒	吉井	よかった。あとは、ほんだら、闘い方だけやな。ひょつと、ひょつとしたら、あのー、気力があつたら、闘うかもしれません。おとなしくないかもしれません。まだ、わかり、わかりません。ただ、ただね、文明さん、信じとってくれ、俺ね、あのー、経営学部、今のままやったら、あかん、思とんね。それでね、あのー、僕の首をとるんやったら、刺し違えてでも、経営学部をよくして出たい。僕ね、それをやらんと、しかしなー、誰かに言われたんや、おまえ、バカやいうて言われたんやけどね、経営学部をなんとか、経営学部ちゅうのはね、あとの学生のために、僕らが、いい、その、土壌を、そのー、植えつけていって、そのー、後任にバトンタッチしていくのが、教授職とかの役割やと、僕は思うて、ズーと来とったからね。だから、そこをちゃんとやりたい。それがひょつとしたら、僕が文書流した時の最初の、し、精神やしね。それをやろうかなーと思ったりしとんねわ。	245
		吉井	ごめん、長時間	246
		山田	いやいや、*** <聞き取り不可 > ***	247
	32分7秒	吉井	ごめんな、ありがとう。はい、はい。	248